

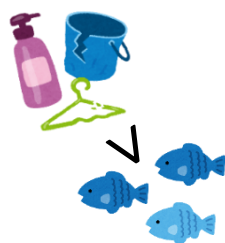
きれいな川を未来に残そう！

ポイ捨てされたごみは、分解されず川を通じて海へ流れ込み、海の生物に被害をもたらすだけでなく、人間にまで悪影響を与えます。

そうならないよう、ポイ捨てや不法投棄、違法焼却は絶対にやめて、川をきれいに保全しましょう！

海洋へのプラスチック流出

毎年、数百万トンのプラスチックが陸から海へ流出しており、このままだと**2050年には、海の中のプラスチック量が魚の量より多くなると**予想されています。



不法投棄・焼却は犯罪です！

 ごみをみだりに**投棄**したり、**焼却**した場合、「**廃棄物の処理及び清掃に関する法律**」により、懲役または罰金が科せられるなど、**厳しい罰則**が設けられています。



令和2年度に「藤枝市河川ごみ実態調査」を実施して、市内の2級河川4河川（瀬戸川、朝比奈川、葉梨川、栃山川）における、ごみの散乱状況や水中のマイクロプラスチックを調査しました。

河川現地踏査

4河川計65kmを踏査し、漂着ごみの散乱地点及びごみ流出リスクの高い地点を調査。

漂着ごみの散乱地点

5.36地点/km

ごみ流出リスク地点

2.15地点/km



現地調査の様子

漂着ごみ分布調査

ごみの散乱が多い代表10地点を選定し、国土交通省のマニュアルに基づき、ごみ量(ごみ袋換算)のランク付けを実施。ランクは小さい程きれいで、**ランク6以上の深刻な場所はない。**

1地点でランク5(約4袋)

他の地点はランク3(1袋)以下



コドラート調査の様子

栃山川取水口スクリーン調査

栃山川取水口スクリーンで回収したごみについて、量と質の分析を実施。

回収したごみ合計

57kg (379.8L)

回収したごみ分類

1位 PETボトル

2位 飲料缶



回収されたペットボトル

マイクロプラスチック分析

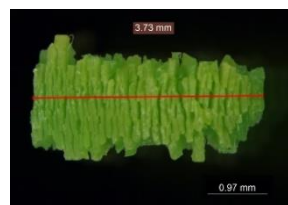
代表6地点を選定し、マイクロプラスチックの採取、成分分析を実施。

6地点平均は

0.42個/m³

全国平均※の

1.6個/m³以下



人工芝由来マイクロプラスチック

※先行研究[Assessment of the sources and inflow processes of microplastics in the river environments of Japan, Tomoya Kataoka 他, 2019]参考



藤枝市河川ごみマップ

